

このマークを見たら、 配りを！ ご存じですか？障害のある人に関するシンボルマーク



障害のある人に配慮した施設・設備であることや、それぞれの障害について分かりやすく表示するため、いろいろなシンボルマークや標識があります。



**障害者のための
国際シンボルマーク**
様々な障害のあるひとびとが利用できる建物、公共交通機関や施設であることを示しています。



**盲人のための
国際シンボルマーク**
視覚障害のある人の安全やバリアフリーが考慮された建物、設備、機器などに表示しています。



耳マーク
「聞こえが悪い」ことが一目で分かるように考案されたマークです。提示された場合、コミュニケーションの方法に配慮する必要があります。



ハート・プラスマーク
身体内部（心臓、肺、腎臓、膀胱、直腸、小腸、肝臓および免疫機能）に障害があることを示しています。



オストメイト設備／オストメイトのマーク
人工肛門・人工膀胱を造設している人（オストメイト）のための設備があるトイレなどに表示しています。



ほじょ犬マーク
盲導犬、介助犬、聴導犬は、公共施設や公共交通機関はもちろん、デパートやスーパー、レストランなどの民間施設でも同伴できます。



**身体障害者標識
(四つ葉のクローバマーク)**
肢体に障害のあることを理由に免許に条件が付されている人が運転する自動車に表示しています。



**聴覚障害者標識
(聴覚障害者マーク)**
聴覚障害のあることを理由に免許に条件が付されている人が運転する自動車に表示しています。



ヘルプマーク
外見から分からなくても、援助や配慮を必要としている人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。

いろいろなマークや標識がありますね。内部障害のある人や、聴覚障害のある人など外見では障害のあることが分かりにくい人もたくさんいらっしゃいます。私たち一人ひとりが思いやりの心を持って、全ての人にとって暮らしやすい社会をつくっていきましょう。



ヘルプマークを配布しています

埼玉県では「埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしてゆける共生社会づくり条例」に基づき、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指して様々な取組みを進めています。新たな取組みとして、県内市町村においてヘルプマークを無償で配布しています。

配布場所 役場福祉課および保健センター

対象 義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、または妊娠初期の人など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人

問合せ 福祉課障害福祉係 ☎ 049(295)2112 ㊟ 115・116



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS



ジャガイモいっぱい 採れたよ！

町立保育園のジャガイモ掘り体験

6月22日に歴史民俗資料館裏の毛呂山町農業塾の畑で、旭台保育園とゆずの里保育園の児童によるジャガイモ掘り体験が行われました。みんなジャガイモ掘りは初体験、「見て、たくさん採れた」、「こんなに大きいよ」小さな手で大きなジャガイモを掴み大喜び。毛呂山町農業塾の皆さんにお手伝いいただきながら、楽しく農業体験が出来ました。



収穫したジャガイモはお土産に持って帰ったり、給食のメニューに取り入れられたりと、みんなで美味しく食べました。



防災について地域で確認

第一団地で「第1回木造建物密集地対策における自主防災訓練」を実施

6月24日、第一団地自治会と西入間広域消防組合が前久保中央公園で自主防災消防訓練を実施しました。平成28年12月に新潟県糸魚川市で発生した木造密集地における大規模火災を機に平成30年2月に第一団地を木造建物密集地域に指定しました。訓練は自主防災組織を中心とした住民が自主的に防災訓練を行うことにより、火災の発生を抑え、災害による被害を最小限に抑えられるようにするものです。自主防災組織本部を中心とした消火、避難誘導、給食給水のそれぞれの訓練や、一般の自治会員も参加して、消火器を使用した消火訓練や119番通報訓練などを実施しました。



大規模災害に備えて

大規模火災発生時の消防用水搬送協力に関する協定を締結

6月26日、西入間広域消防組合は、埼玉県北部生コンクリート協同組合とミキサ一車を所有する有限会社飯



能生コン工業と大規模災害発生時の消防用水搬送協力に関する協定を締結しました。この締結を通して、近年懸念されている大規模災害にも対応して、更なる災害体制の充実に繋げてまいります。



山車の曳き廻しと七夕まつり 夏の夜に囃子の音色が響きわたる

毛呂本郷夏祭りと七夕まつり開催

7月14日(土)、上町保育園跡地を中心に「毛呂本郷夏祭り」とゆずの里商店街の「七夕まつり」が開催されました。囃子のリズムや「せーの」「こりゃ、こりゃ～」と掛け声に合わせて子どもから大人まで多くの人が、手綱を握りしめて2台の山車を町中曳き廻しました。メイン会場では、七夕まつりが開催されて、滝ノ入地区の山車、華やかに彩られた七夕の飾りや地元加盟店の店が並び、夜空には華麗な花火が打ち上げられ、訪れた人は夏の夜を大いに楽しみました。



花はす広場は幻想的な空間

花蓮光明まつり開催

7月7日「花蓮光明まつり」が開催されました。会場には約1000人が来場し、毛呂山町民踊連盟による民



踊の披露や毛呂山オカリナクラブによるオカリナ演奏が行われました。日が暮れると会場内に散りばめられた約600本の竹灯籠に灯がともされ、幻想的な世界を創りだしました。

